

⚠ 注意

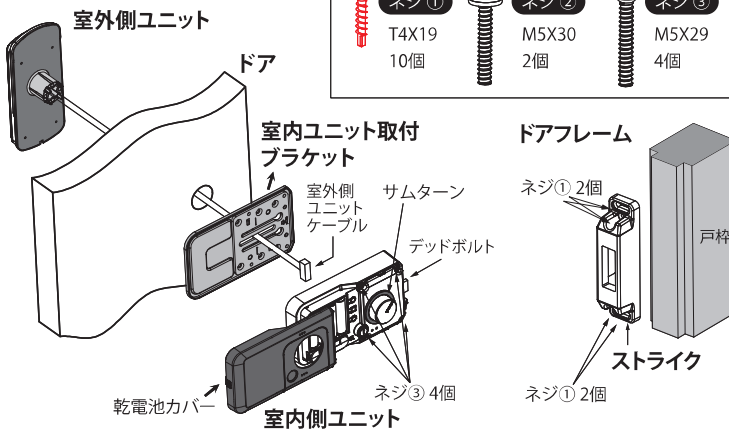
1. この取り付け用の型紙は、デジタル錠取り付け経験者にご利用いただくものです。はじめにデジタル錠取り付けをされる場合は、取り付け前にしっかりマニュアルをご確認・ご理解の上、自己責任のもと取り付けてください。
2. 取り付けの際は、デッドボルトがストライク穴の中心になるように取り付けてください。取り付け状態が適正ではない場合、軽微なドアのズレでデッドボルトがストライクに干渉し、本体の不具合や故障の原因となります。
3. 取り付け前にドアの厚みとドアが左右どちらに開閉するのかをご確認ください。本製品は厚み40～50mmのドアに対応しています。

取り付け方

1. 最初に、ドアがスムーズに開閉できるか確認してください。
2. 取り付け用型紙の点線に沿って折り、90度曲げてから、ドアに当てて取り付け箇所を決めてください。
3. この型紙に記載のサイズに沿った位置に取り付けしてください。
4. 既にある補助錠を取り外して取り付けの場合には、取り付け位置を調整するために室内ユニット取付ブラケットの横長の真ん中の穴を使って製品を取り付けてください。
5. 室外側ユニットを外側からドアに引っ付け、ネジ②M5x30のネジ2個で室内ユニット取付ブラケットと室外側ユニットをしっかりと固定してください(室内ユニット取付ブラケットの④の図が戸先にくるように取り付け)。よりしっかりとドアへ固定したい場合は、ネジ①T4x19のネジで最低4箇所以上を固定してください。(6箇所まで固定できます)

※設置用ネジ

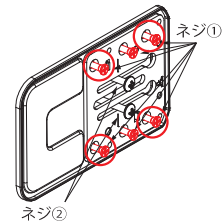
ネジ①	ネジ②	ネジ③
T4X19	M5X30	M5X29
10個	2個	4個



6. 室外側ユニットのケーブルを室内側ユニットのコネクターに差し込み、ネジ③M5x29のネジ4個で室内ユニット取付ブラケットに固定してください。
7. デッドボルトの位置を調整しながら、T4x19のネジ4個でストライクを固定し、ストライクとデッドボルトの距離を合わせてください。(ストライク位置が遠い場合はストライク用ライナー Spacer を使用してください。その際はT4x25のネジを使用してください)
8. 電池を入れ、動作テストを行ってください。
※動作テストは必ず扉を開けた状態で行ってください。
9. 使用前に必ずユーザーマニュアルをお読みください。

※ 木製のドアの場合は、ネジ①T4x19を4x30(木製ドア用)のネジに変えてください。

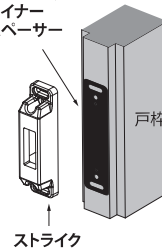
室内ユニット取付 ブラケット



ストライク用 ライナー Spacer

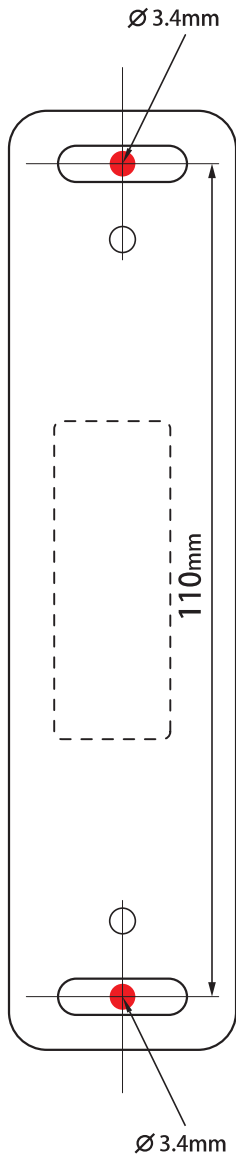
※ストライクの高さ調節が必要な場合は、ストライク用ライナー Spacer をお使いください。

ストライク用 ライナー Spacer

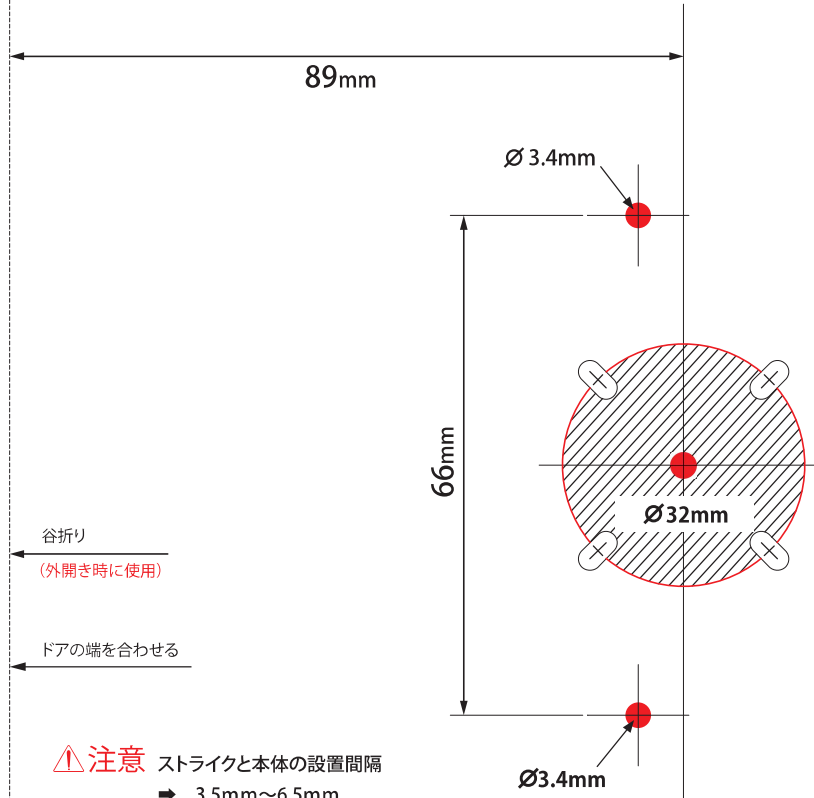


取り付け用型紙

(屋内のみで使用してください。)



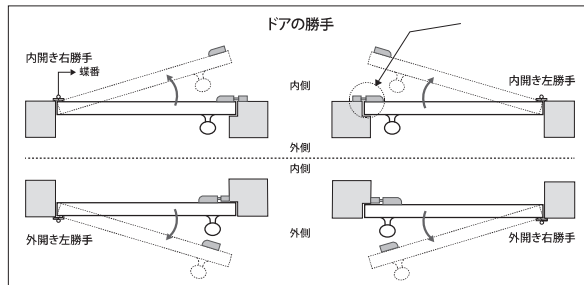
△ 注意 内側に開く扉の場合は、扉と枠の距離を確認しながら、あわせてください。



谷折り
(外開き時に使用)

ドアの端を合わせる

△ 注意 ストライクと本体の設置間隔
⇒ 3.5mm~6.5mm



(対応ドア厚: 40~50mm)